

受付番号

7

承認番号

大歯医倫 第110885号

研究課題名

食形態の違いによる食行動と視線との関連

研究責任者

田中 昌博

申請者

安井 由香

研究終了日

平成30年3月31日

所属

有歯補綴咬合学講座

所属

歯学研究科 有歯補綴咬合学専攻

職名

主任教授

職名

大学院2年生

申請の概要

わが国では、超高齢社会に伴い、高齢者の健康維持が重要な課題となっている。高齢者の大半は低栄養が危惧されており、対策としてミキサー食などの食形態をとることで、栄養摂取量増加を図っている。

しかし、多くの高齢者が、食べたいと思う食形態での食事摂取ができず、視覚により食イメージが悪化し、食欲減退の原因となっていることが考えられる。しかし、食形態の変化が食欲減退と関連しているかは明らかにされていない。

一方、無意識下で興味対象を判別することが出来るアイトラッキングという手法が、多方面で応用されている。アイトラッキングは、人の注視点を計測することが可能であり、マーケットリサーチ、発達心理学、眼科学やニューロサイエンスなどの様々な領域で活用されている。

そこで本研究では、基礎的研究として、アイトラッカーを用いて、成人の食行動と視線との関連について明らかにする。同じ食品の異なる形態間で、食行動に変化が生じる可能性がある。食行動の違いの原因が明らかとなれば、食品の提供方法を工夫することができ、栄養摂取の向上が期待できると予測される。